

令和5年度2月度小WG、令和6年度第1回研究WG(全体)活動報告

はじめに

倫理委員会では、一昨年度より3つの小WGで活動を開始しています。令和6年2月5日(月)にC班(未来班)、令和6年2月14日(水)にA班(過去班)、令和6年3月1日(金)にB班(現在班)の小WG活動を行いました。また、令和6年4月17日(水)に令和6年度第1回倫理委員会研究WG(全体)を、かでの2・7の310会議室にて開催しましたので報告します。

1. 令和5年度第3回C班(未来班)小WG(出席8名)

今年度の技術士全国大会(北海道)第1分科会「技術者倫理」及び技術者倫理フォーラムにおいて未来班が発表する内容について検討・議論を行いました。未来班ではここ数回のWGにて、過去の技術者倫理が現代にどのように適用されるか、そして未来へ向けて新しい技術者倫理の概念として「Well-Being」をどのように形成し理解するかといった観点で議論を行ってきました。その内容に基づき小川委員が発表資料案を作成し、過去の倫理要綱と現在の要綱の比較や技術者倫理が時代とともにどのように進化しているのか、あるいは根本的な価値が変わっていないかについて議論しました。さらに、技術者倫理の具体的事例を通じ、未来の技術者がどのように倫理的課題に対応していくかについて検討しました。特に「Well-Being」の概念については、個人の幸福と社会的貢献のバランスをどう取るかが重要な議題でした。この新しい倫理観が技術者に求める行動様式や心構えにどう反映されるべきか、具体的な事例を交えながら議論を進めていきます。

2. 令和5年度第3回A班(過去班)小WG(出席9名)

(1)環境問題と倫理について(市川委員)

市川委員から「環境問題のカーボンニュートラル等に対する倫理の視点」と題して、日本や世界の環

境問題とそれに対する対策の歴史等についての話題提供がありました。特に、産業革命から現代にかけての環境破壊の進行、公害問題への対応、及び環境政策の変遷が詳しく説明されました。日本の場合、明治～昭和にかけての公害問題とその対策、そして現代のカーボンニュートラルへの取組みについて紹介され、また、世界的な視点からは、オゾン層保護や地球温暖化防止の国際的な合意とその進展が紹介され、持続可能な開発への国際社会の取組みについて市川委員の私見も交えた説明が為されました。



開催状況(かでの2・7 310会議室)

(2)全国大会・フォーラムでの現在班発表内容検討

過去班の発表資料案は、技術者としての倫理観の変遷と持続的価値の探求に焦点を当てています。全国大会第1分科会のテーマは「技術者よ大志を掛け！過去・現在そして未来へ」です。過去班ではこれまでに倫理観が時代、地域、宗教によってどう変化するかを、徳倫理、規範倫理、義務論を通じて掘り下げており、明治期以降の日本での教育や、札幌農学校で育った技術者である広井勇や青山士達による倫理的な行動やその教えが西洋の倫理観と日本の武士道をどのように融合させていったかに等しい議論を行ってきました。過去班の発表としては、過去の倫理観が現代にどのように引き継がれ、また進化していくべきかを示唆するメッセージで締めくく

り、次の現在班および未来班の発表へスムーズにつながる役割を担います。このような視点を持って、メンバー全員が参加し、過去班の発表内容を検討・作成していくことになりました。

3. 令和5年度第3回B班(現在班)小WG(出席9名)

今年度の技術士全国大会(北海道)第1分科会「技術者倫理」及び技術者倫理フォーラムにおいて現在班で発表する内容について検討・議論を行いました。現在班はこれまでに、昨今の品質・検査偽装や事故、気候変動やSDGs、談合問題等、現代における重要な倫理問題などを取上げ議論してきました。

現在班の発表内容としては、1970年代以降の高度経済成長期から現在にかけて、技術者が関与する不祥事が多発し、公衆の安全を損なう事案が多発していることを主なテーマとして取り上げ、これらの事案は企業と組織内の技術者のジレンマあるいは利益相反が原因としてまとめてきます。また、現代社会における倫理的課題に対する新たなアプローチとして、予防倫理から志向倫理への転換が提案されている点に触れたいと考えています。過去からの意思を引き継ぎながら、社会の変化に適応し新たな課題にどう対処するかといった観点で検討・議論をメンバー全員で行っていきたいと考えています。

4. 第1回研究WG(全体)(出席:会場16名、Web4名)



開催状況(かでの2・7 530会議室)

(1)組織・体制変更等

現在の組織体制は委員長、幹事長、幹事にて構成されていますが、令和6年度より委員長、副委員長、幹事長、副幹事長の体制に変更することといたしました。6月から新体制で活動いたします。

(2)第14回技術者倫理フォーラムの開催について

令和6年度開催の第14回技術者倫理フォーラム

を7月5日(金)にホテルポールスター札幌にて、昨年と同様にハイブリッド形式で開催します。なお、基調講演は小樽商科大学の泉貴嗣准教授にお願いしています。当委員会のWG活動報告は現在のところ小WGの各班から庭田委員、長谷川幹事、小川幹事が中心となり発表を行う予定となっています。

(3)技術士全国大会の準備対応等について

今年度の全国大会での「技術者倫理情報連絡会」は令和6年10月4日(金)にかでの2・7の820研修室にて現在のところ13:00～16:30に開催される予定となっています。内容としては、1. 統括本部倫理委員会活動報告、2. 北海道倫理委員会活動報告、3. 技術者倫理情報交換会(各地域本部からの提案テーマに関する意見交換)が現在予定されています。

(4)第1分科会及びフォーラムでの小WG発表内容

2月までに3つの小WGが各々検討してきた内容を基に幹事会で全体の発表ストーリー案を作成し、講演タイトルを決めることにしました。その結果講演タイトルは「Boys, be ambitious 現代に残る志～そして未来へ」に決定いたしました。

6. おわりに(過去、現在、未来の総まとめ)

・予防倫理と志向倫理は、技術者倫理の両輪であり、これからも予防倫理と志向倫理どちらか一方ということではなく、二つを組み合わせた多角的な視点・手段により倫理的行動を実行することが重要であるとの考えに至った

予防倫理



志向倫理

・今後とも私たちは、技術者自身が技術者倫理を通じて仕事に誇りを持ち、技術者が社会や人々に貢献することで幸福感や満足感を得ることのできる大志ある仕事であることを、技術者のみならず広く社会に広める必要があるのではないかと

未来班発表資料の一部

おわりに

第14回技術者倫理フォーラムを令和6年7月5日(金)に開催予定です。これまで通りにハイブリッド開催することを基本方針としています。なお、今年度は旭川にサテライト会場を設置することを検討しています。詳細は同封のチラシ、EPOやホームページを通じてお知らせすることになるかと思っておりますので、そちらをご確認ください。みなさんの参加をお待ちしております。